

# 行政事務 A I ・ I C T 化の考え方

「函館市行財政改革推進プラン」, 「人口減少と職員数の考察」

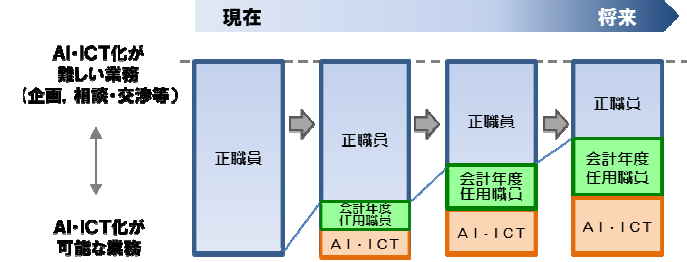
## 【現状・課題】

- ・将来の人口規模に見合った職員数とするため、**段階的な正職員の採用者数の抑制**が必要。
- ・今後、行政責任は拡大、市民ニーズは多様化・高度化。**職員一人あたりの業務は複雑かつ広範に。**

## 【対応手法】

- 事務事業・組織機構の抜本的見直し
- 会計年度任用職員等の活用
- 外部委託化の拡大
- 業務プロセスの標準化・効率化
- **行政事務のAI・ICT化**

## 将来の行政事務の執行体制イメージ

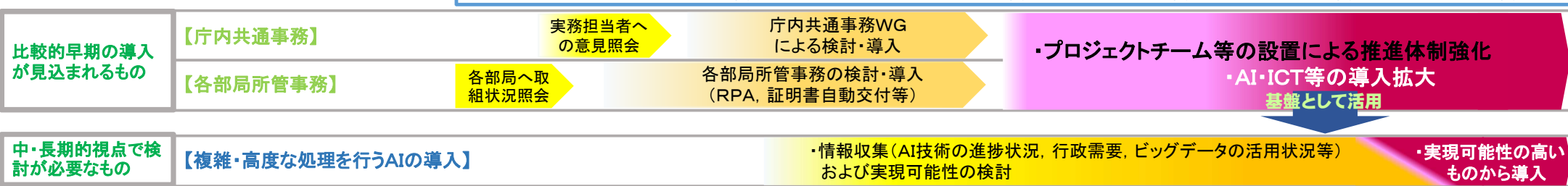


「行政事務のAI・ICT化や会計年度任用職員の活用により、正職員の採用抑制を図るとともに、正職員でなければならない業務にシフトし、施策の成果・サービスの質の向上を目指す。」

## 行政事務AI・ICT化の取り組みの考え方

- ・AI・ICT化は、今後の行政運営のあり方を見据え、業務の見える化、実態把握・分析をしたうえで、業務の集約化を図りながら、対象業務の絞り込み・導入手法の検討を進める。
- ・AI・ICT化によって、業務を**効率化・標準化・集約化**することで、会計年度任用職員等他の任用形態の職員でも処理を可能とするなど、**正職員の採用者数の抑制**を図る。
- ・複雑・高度な処理を行うAIの導入拡大には、膨大なデータの蓄積が必要となるため、データを収集・活用できる仕組みの構築など、段階的に進めていく必要がある。
- ・大きな業務改善効果が期待でき、**早期の導入が見込まれる**、給与事務、文書事務など各部局共通の**庁内共通事務**および**各部局所管事務のICT化から着手**し、各部局のAI・ICT化の横展開につなげる。

## 【行政事務AI・ICT化 ロードマップ】



## 【庁内共通事務】

庁内共通事務において導入を検討する事項

### 【職員個人に係る分野】

- 総務事務システム
- 給与事務
- 勤務管理
- 旅費事務
- 福利厚生・その他

### 【組織運営に係る分野】

- 財務会計システム
- 財産管理
- 文書事務
- 議会・委員会

発生源入力※  
×総務事務センター

システム構築・拡充、  
ペーパーレス化

※発生源入力: 個々の職員が直接パソコンから入力・申請等を行うこと

- ・業務の見える化による業務実態の把握・分析(業務マニュアルの整備)
- ・RPA(AI等による業務の自動処理技術)の活用

## 【各部局所管事務】

○ 導入を検討する活用事例

- ・RPA導入による定型業務の自動化
- ・コンビニや各窓口における証明書等の自動交付
- ・各種申請手続きの電子化
- ・本庁・支所窓口間におけるテレビ電話の活用

ほか

・各部局にAI・ICT等の取組状況の照会等を行い、今後、業務の見える化により業務実態を把握したうえで、所管部局と協議しながら、早期の導入が見込まれるものについて、導入手法等の検討を進めていく。

## 【複雑・高度な処理を行うAIの導入】

○ AI活用の可能性の例

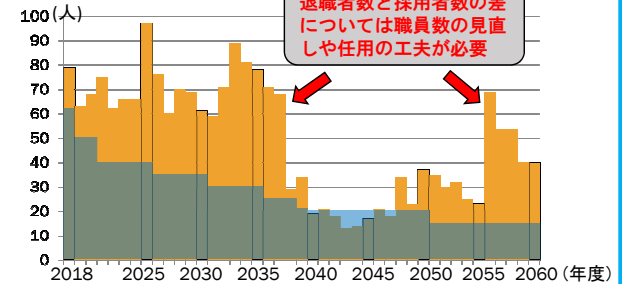
- ・AIロボによる電話・窓口等での問い合わせ対応
- ・ごみ収集車や除雪車等の自動走行
- ・申請書類審査業務

ほか

AI技術の進捗状況、行政需要、ビッグデータの活用状況、費用対効果などを踏まえ、実現可能性の検討をしていく。

○ 退職予定者・採用予定者の試算  
(「人口減少と職員数の考察」から抜粋)

事務事業の見直しに加え、行政事務のAI・ICT化や会計年度任用職員等の活用により、正職員の削減を進める。



※ 黄色: 退職予定者数  
(各年度の前年度中の退職予定者数)  
※ 青色: 採用予定者数